

# もったいないとごみ減量

環境  
だより

食べものに、もったいないを、もういちど。

日本の食品ロス(平成30年度)は、600万トン!

日本の食品ロス

年間約  
600万t

家庭から排出される量

年間約  
276万t

国民1人当り年間 21.8 kg

大口町の  
人口(24,348人)で  
計算すると年間531 t

大口町から可燃ごみの焼却場  
(江南丹羽環境管理組合美化セ  
ンター)に搬入される可燃ごみ  
搬入量(年間3,401 t)に占め  
る割合は約16%です。



問  
合  
せ  
先  
環  
境  
対  
策  
室

95  
-  
1  
6  
1  
3

一人ひとりが日ごろから「もったいない」を  
心掛けましょう。

- 冷蔵庫・家庭内の在庫管理
- 計画的な買い物
- 食べ切り、使い切り、期限表示の理解など、  
食品を無駄にしない。

生ごみ類の約68%は水分です。

水切りを十分おこなっていただくと、

生ごみの減量に大変効果的です。



## 環境への負荷を減らしましょう

燃えるごみは、全て可燃ごみとして出すのではなく、  
皆さんで分別し、リサイクルすることで、最終処分場  
の延命化に繋がり環境への負荷が低減されます。また、  
処理費の削減に繋がります。現在、年間1人あたり約  
5,600円の処理費(可燃ゴミ処理費・粗大ごみ処理費・  
プラスチック処理費を含む)がかかっています。

- 江南丹羽環境管理組合美化センターに搬入される可  
燃ごみの中には、ざつがみが多く混入しています。  
これらを分別して地区の資源・不燃ごみ回収日、ま  
たは、資源リサイクルセンターに出すことで、ごみ  
の減量が図れます。
- 家庭から出た剪定枝や草等を有機資源保管所に出す  
こにより、ごみの減量が図れ、搬入された資源はチッ  
プ化し、土壌改良材やマルチング(根覆い材)とし  
て再利用されます。

## 今年も フードドライブ開催



食品ロス削減の一環として今年もフードドライブ  
を開催します。お家で余った食品をお持ちください。

日時 9月6日(月) から9日(木)

午前9時から正午 午後1時から5時

場所 大口町役場玄関フロア

主催 大口町(環境対策室)

集める食品

- 未開封のもの(外装が壊れていても個別包装は  
OK)● 常温食品(冷凍・冷蔵が必要でないもの)
- 賞味期限が明記され1か月以上残っているもの
- お米は開封していても容器に入っていればOK
- アルコールでないこと

こんな食品が喜ばれます お米(白米)、パスタ、  
食用油、しょうゆ・みそ・砂糖などの調味料、イ  
ンスタント・レトルト食品、缶詰(肉・魚・野菜・  
果物)、コーヒー、お茶などの嗜好品

問合せ先

環境対策室

☎95-1613

